

## 第8回全国高等学校情報教育研究会全国大会（宮崎大会）

大会事務局 山口 将人（宮崎県立宮崎西高等学校）

### 1. はじめに

第8回全国高等学校情報研究会全国大会（宮崎大会）が、宮崎公立大学を会場に、平成27年8月10日（月）、11日（火）の2日間で開催された。今大会には212名の参加があった。九州では初開催となった。

### 2. 大会概要

【テーマ】 地域課題に向きあう情報教育

～地方からの挑戦～

【日 時】 平成27年8月10日（月）13：00～  
8月11日（火）12：40

【会 場】 宮崎公立大学

【主 催】 全国高等学校情報教育研究会

【共 催】 宮崎県高等学校等情報教育研究会

【プログラム】

開会行事

ライトニングトーク

分科会

教育懇談会

ポスターセッション・協賛展示

基調講演

講評・講演

閉会行事

### 3. 大会の様子

#### (1) ライトニングトーク

今大会で3回目になるライトニングトークは昨年が一人あたり3分間だったのに対し、今大会は一人あたり2分間で実施した。分科会発表の紹介や開催地である宮崎県の紹介などが行われた。

3回目となり、発表者はライトニングトークが



写真1 ライトニングトーク

どのようなものを理解しており、昨年度にまして、スライドや物を活用し、興味や関心を引き立てる発表をしていた。

#### (2) 分科会

昨年度は4分科会で行っていたが、今大会では大会開始時間や会場数の関係で、3分科会で21件の発表を行った（表1）。

また、会場数に限りがある理由などから、今大会から発表者を選考したため、内容に偏りがないようになった。



写真2 分科会

「実践と提案」「タブレット教育」「問題解決」「情報モラル」など様々な発表があり、参加者は興味や関心がある内容を選び、聞くことや質問することができた。

今大会では、「モラル」をキーワードとした発表が多くみられた。情報教育の中で「モラル」教育の重要性を改めて考えることができる分科会であった。

### (3) 教育懇談会

今年度の教育懇談会では千葉商科大学の永井克昇教授（前文部科学省初等中等教育局視学官）のお話があり、これからの情報教育について、また、宮崎での全国大会について熱くお話をいただいた。

また、次年度開催県の神奈川県のおいさつがあり、神奈川県の実行委員の先生方の全国大会に向けての意気込みを感じることができた。

### (4) ポスターセッション・協賛展示

ポスターセッションでは21本の発表、企業展示では16の企業が展示を行った（表2）。

大学入試試験、アクティブ・ラーニング、プログラミングなどといった、これからの情報教育の方向に目を向けた発表が多くみられ、情報の発展的な改革へと進んでいることを実感することができた。

また、企業展示では、電子黒板やプロジェクターなど、授業に役立つ情報機器に触れることができ、今後の授業改善へのツールとして検討することができた。

### (5) 基調講演

今大会では最終日に基調講演を行った。「高等学校における教育改革と情報科教育」というテーマで、九州工業大学大学院情報工学研究院の西野和典教授に講演をしていただいた。

テーマにおける3つの問題意識を軸にし、これからの情報科教育の在り方についての内容であった。



写真3 基調講演

教科「情報」を担当している教員にとって「情報とは」ということを改めて考えることができた。

### (6) 講評・講演

大会の最後に、講評・講演として文部科学省初等中等教育局の鹿野利春教科調査官から2日間の講評と、「高等学校における教育改革と情報科教育」という演題での講演をいただいた。

21世紀に求められる資質や能力の育成について述べられ、その育成のための教育を情報科としてどのようにカリキュラムを作っていくのかという考え深い内容であった。

また、共通教科情報の「大学入試科目への導入」にも触れられた。今後の高等学校での教科情報の在り方が大きく変動するのではないかと感じる事ができた。

## 4. おわりに

今大会は、運営委員が7名しかおらず、多くの場面で他県の先生方にアドバイスや手助けをいただき、無事に終えることができた。心より感謝したい。また、地方でも全国大会をすることができるということを実証できたのではないかと思う。これを機に、今まで全国大会を行っていない多くの県が開催してくれることを願っている。そして、より広く教科情報が発展していくことを期待している。

表1 分科会

<p><b>第1分科会</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 問題解決型協働学習での思考力、判断力、表現力の育成およびその評価</li> <li>2) クラウドを用いた生徒の共同学習</li> <li>3) 高等学校の教科情報と大学初年度の情報処理演習の接点</li> <li>4) アクティブ・ラーニングの手法を用いた教科「情報」の授業実践</li> <li>5) 地方での情報教諭として</li> <li>6) 情報科教育の落とし穴</li> <li>7) 情報教育と地域観光との接続－地域資源を取り入れた実践</li> </ol>
<p><b>第2分科会</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 情報を学ぶ教育的意義の考察</li> <li>2) 多角的に比較・判断し行動できる情報モラル授業の実践</li> <li>3) レゴブロックとiPadを使った表現活動</li> <li>4) 生徒と教師がともに考える情報モラル教育の提案</li> <li>5) 言語活動における論理フォームを活用した評価方法の開発及び検証</li> <li>6) 動画を活用した生徒が自主的に考える情報モラル</li> <li>7) 「社会と情報」の中で論理的思考力を養う授業案</li> </ol>
<p><b>第3分科会</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 盲学校・ファブラボと連携したデジタルモノづくり体験の授業実践予告</li> <li>2) 全校生徒にタブレット端末を配布してわかったこと</li> <li>3) e-Portfolioの導入と課題1</li> <li>4) 「社会と情報」に座学を取り入れた授業の実践報告</li> <li>5) 問題解決のための「モデル化とシミュレーション」の活用型学習</li> <li>6) 高校生の知財意識の状況</li> <li>7) Google Classroomを使った授業実践報告</li> </ol>

表2 ポスターセッション発表

<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 第3回大学情報入試全国模擬試験実施結果</li> <li>2) 社会と情報でのプログラミング授業の実践紹介</li> <li>3) 日本情報オリンピックに参加しよう</li> <li>4) Bebras (ビーバーコンテスト) を用いた情報科学教育</li> <li>5) 普通紙マークシートの活用紹介</li> <li>6) 明日から使える40種類の教材 (授業スライド, 生徒教材) の試作</li> <li>7) 情報科の教育課程に関する研究 ～プログラミング教育の比較・考察による新たな提案～</li> <li>8) ブラウザで利用可能なWebプログラム学習環境</li> <li>9) 知財学習のための新刊教材展示</li> <li>10) かね吉との45日間一女子中高生にロボットを与えてみたー</li> <li>11) Webアプリを利用した情報の授業展開の提案</li> <li>12) ブレッドボードによるCPUの自作</li> <li>13) 教育用プログラミング言語「ドリトル」を利用した授業の実践報告</li> <li>14) Google Apps for Educationの実践</li> <li>15) e-Portfolioの導入と実践報告</li> <li>16) データベース学習支援ツールsAccessによる「情報の科学」でのデータベース授業の実現</li> <li>17) 情報の科学「モデル化とシミュレーション」実践報告</li> <li>18) 学習管理システムを利用したインタラクティブな学習環境の構築</li> <li>19) 情報教育におけるICTを活用したアクティブ・ラーニングの評価について</li> <li>20) 情報モラル</li> <li>21) 他の教科におけるICT機器の活用実践例</li> </ol>
--